



Snap Shot ~笑顔があふれたその瞬間~

Smile⑤「輝光祭」

～ボランティアの方に支えられながら輝いた生徒の笑顔～

下都賀地区生涯学習研究会 広報委員 大塚 智史
壬生町立南犬飼中学校 教諭

コロナウィルスの影響でさまざまな行事が中止または縮小される中、本校の輝光祭も規模を縮小して実施されました。そのような中でも、輝光祭を実施できる喜びから、生徒は輝光祭を盛り上げようと、精一杯活動に取り組みました。本校の輝光祭では、例年ボランティアとして地域の方々に協力していただい
ており、今年度は「歴史」「写真」「茶道」「絵手紙」「ギター」「ものづくり」の6部門で生徒の活動をサポートしていただきました。これまで知らなかった身近な地域の歴史や初めて触る楽器や工具の使い方など、生徒は地域の方々からさまざまなことを学びました。そして、地域の方々とのつながりから1つのも
のを作り上げていく生徒の様子は、とても輝いていました。コロナウィルスによる難しい状況が続く中、生徒の成長を支えてくださった地域の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。
今回の活動を通してうまれたつながりが発展し、壬生町がさらに輝くエネルギーになることを楽しみにしています。



Snap Shot ~笑顔があふれたその瞬間~

Smile⑥「技術がつなく、人のつながり」

～心豊かな工業人を目指して～

下都賀地区生涯学習研究会 広報委員 山岸 峻也
栃木県立栃木工業高等学校 教諭

私が所属する栃木工業高等学校で、今年度行われた行事を2つ紹介いたします。
1つ目は「出前プログラミング講座」です。9月11日(金)皆川城東小学校5・6年生を対象に、本校で開発された子どもパソコン「SkyBerryJam®」を用いてプログラミングの授業を実施しました。コロナ禍の影響で8ヶ月ぶりの開講となりましたが、本校生徒8名が小学生に向けてプログラミングの面白さを伝えようと熱心に取り組んでいました。
2つ目は「うずまの竹あかり製作」です。未来の職業人育成事業として、9月19日(土)には電子科3年生5名がNPO法人・蔵の街遊覧船に出向き、竹明かりの製作に関するノウハウを学びました。また26日(土)、27日(日)には、学んだノウハウを活かし市内小中学生22名と竹明かり製作に取り組みしました。完成品は、11月より巴波川ほとりになり、栃木市の町並みを彩っています。
どちらの行事においても、高校生が地域の子もたちとふれあいながら身につけた知識を活用する経験をすることで、お互いに有意義な時間を過ごすことができた
と思います。コロナ禍の状況で困難な面も多い昨今ですが、このような活動場面が増やせるように、学校でもできることに取り組んでいきたいと思っています。



生涯学習研究会第1回研修会を開催しました



11月20日(金)、國學院大學栃木学園教育センターにおきまして、令和2年度下都賀地区生涯学習研究会第1回研修会(下都賀地区ふれあい学習研修会、下都賀地区地域連携教員研修)を開催しました。
国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 部長 藤原文雄氏に「これからの学校と地域の連携・協働～コロナショックの下で～」の演題で講演いただきました。
「学校と地域の連携・協働」はゴールではなく、すべての子どもたちに公正で質の高い学びを提供するための手段であるという話を伺い、地域連携の意義について改めて確認することができた機会となりました。



ご案内

令和3年2月2日(火)、小山市桑市民交流センター(マルベリー館)におきまして、令和2年度下都賀地区生涯学習研究会第2回研修会(下都賀地区ふれあい学習ネットワーク)を開催いたします。
詳細につきましては、開催要項を同封しましたので、ご覧ください。



問合せ

発行 下都賀地区生涯学習研究会
事務局 下都賀教育事務所ふれあい学習課内

TEL 0282-23-3422 / FAX 0282-23-3502
E-mail shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

